

# 金沢市をフェアトレードタウンに ～フェアトレード大学を目指して～

団体名 ● FTGs / 代表者名 ● 河村倫空 (経済学部経営学科・3年)

## はじめに(背景・目的・目標)

地域連携の活動として、フェアトレードタウン金沢推進委員会という、NPO 法人との連携を行い、金沢市をフェアトレードタウンにすべくフェアトレードに関するイベントを共同で行った。金沢市をフェアトレードタウンにするための活動として私たち FTGs は金沢星稜大学をフェアトレード大学に認定してもらおうという目標を立ち上げ、フェアトレード大学の認定項目の達成に向け活動を行った。

## 活動内容

### 1. フェアトレードフェスタ2025(5月10日)

このイベントでは被災地支援ブースに加えて環境・社会・福祉・地域・食・企業・学校からフェアトレードに関するブースが出店し、合計35団体が出展していた。FTGsからは18名の生徒が参加しフェアトレードの紅茶とパウンドケーキの提供を行った。

### 2. 宅食イベント(5月25日)

今年度から中尾真和教授が行っていたこども宅食事業を引き継ぎ、活動を行った。こども宅食イベントとは生活困窮家庭に米や生活用品を配布し、親が相談を受けている間、子供たちとワークショップを行うイベントである。7組の家族がワークショップに参加してくれた。

### 3. 能登町宮地での活動

神崎ゼミナールの活動に同行し、能登町の宮地で祭りの復興ボランティアを行いつつ、フェアトレードの紅茶と水引のアクセサリーの提供を行った。



### 4. 国際交流祭り

ミサンガのワークショップを主に行った。今回のワークショップではFTGsから8名運営にあたり、10組の家族が参加してくれた。



### 5. 流星祭

今年度は1年ぶりに流星祭に出展し、フェアトレードのスパイスを使ったスープカレーとチャイの提供を行った。スープカレーの人气がすさまじく2日目は開店して2時間以内に売り切れ、計40名以上に販売できた。またフェアトレードへの関心に対するアンケートを行い、星稜大学のフェアトレードに対する意識についてのデータをとることができた。

## 成果、結果の考察

今年度は新加入のメンバーが多数おり、フェアトレードの理念に賛同するメンバーが増え、活動頻度も増加した。フェアトレード大学の認定項目の達成には至らなかったが、達成するための下準備を積むことができたと考える。そのため来年度は今年度の活動を活かせるよう、認定項目の達成に向けた本格的な活動に力を入れていきたい。

## 今後の課題、展望

1. 学内でフェアトレード製品を販売するにはどうすればよいかを今後の課題としたい。
2. こどもにフェアトレードの仕組みを伝えるため工夫を考えていきたい。
3. 未達成のフェアトレード大学の認定項目に対し、どのようにアプローチするか議論したい。